

## 大会開催または会場にけるガイドラインについて

広島県ミニバスケットボール連盟理事長  
(U12 部会長) 上田志津江

各地区連盟で、小学校会場は所属長の許可があるかを確認し、できるだけ広くて、換気のある会場が望ましい。

また、密を避けるための会場の参加チーム数、ギャラリーや、保護者の制限等も検討していかなければならない。

そのため、安全とミニバスケットボールを楽しむ(観戦・応援も含む)ことを考え、なるべく換気や空調がある公共施設を使い、密になることを避けるようにしていきたい。

### 観客席

- ・アリーナの場合・・・2階席から声を出しての応援や声掛けはしない。(拍手のみ)
- ・小学校会場の場合・・・ベンチの対面席から声を出しての応援や声掛けはしない。(拍手のみ)
- ・熱中症予防のためには人がいないところ、距離がきちんと取れていれば飛沫感染予防のマスクを外しても良い。こまめに水分を取ることも必要。選手だけでなく、保護者も気をつけておく必要がある。

### 試合中・ベンチでの行動

- ・コーチは、マスクをはずした状態で声を出さない。
- ・コーチは、大きな声で指示を出さない。(その場で伝えられないことが多くあるが、ぐっと飲み込む姿勢を持つ。)
- ・コーチは、試合前、タイムアウト、試合後など、選手と話すときには、身体距離(1.5～2m)を保つ。その際、必要以上に大きな声を出さない。
- ・タイムアウトでベンチに戻った選手は、間隔を取るためにいすを2つ以上空けて座り、マスクをせずに休憩、指示を聞いてもよい。(その際、コートに出ていた選手以外は立ち上がり、ベンチのいすを空ける。)
- ・選手は、ベンチでできるだけ間隔を空けていすに座る。
- ・選手は、大きな声を出しての応援や声掛けをしない。
- ・試合前、試合後は必ず手洗いをを行う。(指導者・保護者が必ず声掛け)

### その他

- 審判はマスクをはずし、笛を使って審判を行うときには、必要以上に声をださないようにする。(特に、近くに選手やコーチなどがいる場合)
- マスクは自己管理。他の人にマスクを取ってもらったり片づけてもらったりしない。
- 開会式の中で、感染症対策の説明を子どもたちや会場全体にする。

○出場辞退していただく要件の整理

- ・当日・前日に平熱を越える熱があったり，体調不良であったりする人
- ・陽性反応があった人。または濃厚接触者。

会場での朝の会の伝達事項

**共通**

- ①チェックシートの提出・本部の確認。
- ②子どもの体調管理。手洗い，うがい，消毒の徹底。
- ③マスクの自己管理。

**保護者**

- ①声を出しての応援を控え、拍手のみ。
- ②観客席の密を避ける。
- ③熱中症予防の観点から，距離が取れるときはマスクを外したり，水分補給をこまめにしたりする。
- ④試合前後の手洗いの徹底（大人の声掛けを必ず！！）
- ⑤体調が悪くなった子どもがいた場合，必ず本部に報告。

**コーチへ**

- ①試合中の声掛け…距離を空けて。大声を出さない。常時マスク着用。
- ②選手の座る席をできるだけ離す。
- ③指導者が帯同審判の際，必要以上に声を出さないようにする。
- ④握手は行わない。相手チームなどへの挨拶は代表が行うようにする。
- ⑤TO をする際は，マスク着用。